

資料編

「市内事業所アンケート」ご協力のお願い

日頃は、本市商工業の振興にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、中小企業の振興と小規模企業の持続的発展を念頭に、今後の商工業関連施策の参考とするため、小矢部市商工会員の皆さま方を対象に「市内事業所アンケート」を実施することといたしました。

いずれも回答内容は回答者が特定できないよう全て統計的に処理することとし、他の目的に使用することはございませんので、できるだけ多くの皆さまにご協力いただければ幸いです。

各位には、何かとご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年12月

小矢部市商工立地振興課

調査票のご記入にあたって

- 回答は、12月1日現在の状況について、設問ごとの指示に従い、この調査票に直接ボールペン等でご記入ください。
- 記入した調査票は、令和7年1月10日（金）まで、添付の返信用封筒に入れて郵送ください。※切手を貼る必要はありません。

所要時間は 約5分！ インターネットによる回答も可能です！

- パソコンやスマートフォンから、インターネットで回答することもできます。
※ 回答期間：令和6年12月2日（月）から 令和7年1月10日（金）まで
※ インターネットで回答された方は、紙の調査票は回答不要です。

【インターネット回答手順】

- 「市内事業所アンケート」回答画面にアクセスします。
 - ・**パソコンの場合** → ご利用のブラウザのアドレスバーに下記のアドレスを入力します。

<https://logoform.jp/f/P8Dlo>

- ・**スマートフォンの場合** → 右のQRコードを読み取ってください。

※ 回答フォームは、株式会社トラストバンクのLOGOフォームを使用しています。



◆◆◆ お問い合わせ ◆◆◆

小矢部市商工立地振興課 TEL 67-1760（内線452）

※はじめに

Q1 法人・個人事業主の別（〇は1つ）

① 法人	② 個人事業主	③ その他（ ）
------	---------	----------

Q2 業種（代表的なもの）をお選びください（〇は1つ）

① 農林業	⑩ 学術研究・専門技術サービス業
② 建設業	⑪ 宿泊・飲食サービス業
③ 製造業	⑫ 生活関連サービス業
④ 電気・ガス・熱供給・水道業	⑬ 娯楽・レジャー業
⑤ 情報通信業	⑭ 教育・学習支援業
⑥ 運輸・郵便業	⑮ 医療・福祉
⑦ 卸売・小売業	⑯ その他のサービス業
⑧ 金融・保険業	⑰ その他（ ）
⑨ 不動産・物品賃貸業	

Q3 従業員数（正社員・パート・アルバイトを含む。）をお選びください（〇は1つ）

※家族（専従者）従業員を含みます。

① 0人	② 1～4人	③ 5～9人	④ 10～19人
⑤ 20～49人	⑥ 50～99人	⑦ 100～199人	⑧ 200人以上

Q4 創業からの事業歴をお選びください（〇は1つ）

※個人営業の期間等がある場合は、その期間も含みます。

① 5年未満	② 5～9年	③ 10～19年	④ 20～29年
⑤ 30～39年	⑥ 40～49年	⑦ 50年以上	⑧ その他（ ）

（事業全般）

Q5 貴社・あなたの「優位性」や「強み」をお選びください（複数回答可）

① 熟練の技術者がいる	⑪ 高い品質管理技術を持っている
② 納期を厳守・柔軟に対応できる	⑫ 価格競争力がある
③ 仕様変更や改善など顧客への提案能力がある	⑬ 難易度の高い加工技術を持っている
④ 高い専門性を有する人材がいる	⑭ 新製品の企画開発能力を持っている
⑤ 多様な顧客を持ち、顧客動向に起因する経営上のリスクが小さい	⑮ 特殊設備・新鋭設備を持っている
⑥ 多品種・小ロット生産に対応できる	⑯ 他社との共同研究や異業種交流により新製品・新技術開発を積極的に進めている
⑦ 多様な企業との協力関係にあり、顧客の幅広いニーズに対応できる	⑰ 大学・研究機関との連携協力により、製品・技術の高付加価値化や新製品開発を実現している
⑧ 独創的な製品・技術を持っている	⑱ 特にない
⑨ 安定した大口顧客を持っている	⑲ その他（ ）
⑩ パート・アルバイトを効果的に活用している	

Q6 経営上の問題を解決するために「必要な取組」はどのようなものだと思いますか（複数回答可）

① 市場調査	⑫ 情報発信・ICT等情報技術の活用
② 試作品・新製品開発の強化	⑬ 産業観光の展開
③ 販路拡大・営業力の強化	⑭ 事業継続計画（BCP）の策定
④ 専門家によるアドバイス	⑮ 人材確保・労働力確保
⑤ 技術や知識のある人材の確保・育成	⑯ 事業承継
⑥ 設備投資	⑰ 広報・マーケティングの強化
⑦ 資金調達	⑱ DX・GX化の取組
⑧ 生産性の向上	⑲ デジタル人材の育成
⑨ 新たな技術や知識の習得	⑳ 海外展開
⑩ 異業種・産官学等との情報交換・連携強化	㉑ 問題点はない
⑪ 見本市等への出展・出品	㉒ その他（ ）

Q7 Q6の経営上の問題を解決することが「困難な理由」はどのようなものだと思いますか（複数回答可）

① 適した人材が見つからない	⑦ 支援施策がわからない
② 人手・時間が不足している	⑧ 借入金の返済負担が大きい
③ ノウハウがない	⑨ 困難ではない
④ 必要な知識に乏しい	⑩ 問題はない
⑤ 資金が確保できない	⑪ その他（ ）
⑥ 相談先がわからない	

Q8 経営上の「問題」や「課題」が発生した場合の相談先をお選びください（複数回答可）

① 行政（県や市）	⑦ 税理士・社会保険労務士
② 商工会	⑧ 中小企業診断士
③ よろず支援拠点	⑨ 金融機関
④ 新世紀産業機構	⑩ 相談しない
⑤ 事業承継・引継ぎ支援センター	⑪ その他（ ）
⑥ 中小機構（中小企業基盤整備機構）	

Q9 行政等に対して「希望する支援策」をお選びください（複数回答可）

① 新事業創出に対する支援	⑨ 海外の販路開拓に対する支援
② 新製品・サービス・技術開発に関する支援	⑩ 事業継続・事業承継に対する支援
③ 雇用・人材確保・労働力確保に対する支援	⑪ 公共事業の維持・拡大
④ 工場新增設・設備投資に対する支援	⑫ 外部からの企業誘致
⑤ 運転資金に対する支援	⑬ 地域内での消費喚起
⑥ 物価高・燃料価格高騰に対する支援	⑭ 経営ノウハウに対する支援
⑦ 地域資源を生かした産業づくり	⑮ 希望する支援策はない
⑧ 国内の販路開拓に対する支援	⑯ その他（ ）

(人材確保・労働力確保関係)

Q10 貴社・あなたは必要な人材が確保できていますか（○は1つ）

① 確保できていない
② どちらかといえば、確保できていない
③ どちらかといえば、確保できている
④ 確保できている

（①又は②を選択された方）

人材が確保できていない「主な要因」や「課題」をお選びください（複数回答可）

① 必要な人数が集まらない
② 応募はあるが、求めている人材がいない
③ 採用しても、辞退者・退職者が多い
④ 採用に時間やコストをかけることが難しい
⑤ 経営上の理由から、新たな人材を確保する余裕がない
⑥ その他（ ）

Q11 「人材不足の対応策」として当てはまるものをお選びください（複数回答可）

① シニア雇用（60歳以上）を増やす	⑤ 人材育成に注力する
② 女性活躍を進める	⑥ 低収益事業をなくす
③ 外国人材を採用する	⑦ 対応はしていない
④ 社内での配置転換を行う	⑧ その他（ ）

Q12 「求める人材」についてお選びください（複数回答可）

① 正社員（長期的な雇用）	⑤ 未経験者（新卒者を含む。）
② 期間を定めた契約社員	⑥ 管理職経験のある人
③ パート・アルバイト等（短時間労働者）	⑦ 外国人材（国籍は問わない）
④ 経験者（即戦力となる人）	⑧ その他（ ）

Q13 「求める人材」の年齢をお選びください（複数回答可）

① 25歳未満	② 25～29歳	③ 30～39歳	④ 40～49歳
⑤ 50～54歳	⑥ 55～59歳	⑦ 60歳以上	⑧ 年齢は問わない

Q14 現在行っている「求人の方法」をお選びください（複数回答可）

① 自社サイトや自社の採用専用サイトの活用
② ハローワークへの登録
③ 求人広告（Web 求人サイト）
④ 求人広告（冊子や新聞折込などの紙媒体）
⑤ テレビCMの活用
⑥ SNS（YouTube 動画、Instagram、LINE 等）の活用
⑦ 学校や専門学校との連携
⑧ 人材紹介会社へ依頼
⑨ 就職イベントや合同説明会への参加
⑩ 求人を行っていない
⑪ その他（ ）

Q15 人事・労務面での「問題点」を教えてください（複数回答可）

① 従業員の高齢化	② 人材の不足	③ 後継者の不足
④ 熟練技術者の不足	⑤ 人件費の上昇	⑥ 研究開発人材の不足
⑦ 人員が過多・過剰である	⑧ 問題点はない	⑨ その他（ ）

（事業承継関係）

Q16 現在の経営者・代表者の年齢をお選びください（〇は1つ）

① 40歳未満	② 40～49歳	③ 50～54歳	④ 55～59歳	⑤ 60～64歳
⑥ 65～69歳	⑦ 70～74歳	⑧ 75～79歳	⑨ 80歳以上	

Q17 現在の経営者・代表者の世代をお選びください（〇は1つ）

① 創業者・初代	② 二代目	③ 三代目	④ 四代目以降
----------	-------	-------	---------

Q18 「先代」と「現在」の経営者・代表者の関係をお選びください（〇は1つ）

① 子ども	② 子ども以外の親族	③ 親族以外の役員	④ 親族以外の従業員
⑤ 社外の第三者	⑥ 先代なし・創業者である	⑦ その他（ ）	

（事業承継の予定関係）

Q19 事業承継の「予定」についてお選びください（〇は1つ）

① 後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する	→ I と II へ
② 後継者は決まっていないが、後継者候補はいる	→ I と II へ
③ 後継者は決まっておらず候補もいないが、事業は継続したい	→ III と IV へ
④ 後継者がいないため、第三者への譲渡（M&A など）を考えている	→ IV へ
⑤ 事業承継を希望しておらず、廃業を予定している	→ V へ
⑥ 事業承継はまだ必要ではなく、現状を維持したい	→ Q20 へ
⑦ その他（ ）	→ Q20 へ

（①又は②を選択された方）

I 後継者・後継者候補についてお選びください（複数回答可）

① 経営者・代表者の子ども	④ 社外から登用する
② 子ども以外の親族	⑤ その他（ ）
③ 親族以外の役員・従業員	

（①又は②を選択された方）

II 事業承継の時期についてお選びください（〇は1つ）

① 1年以内	② 1～2年後	③ 3～5年後	④ 5年以上先	⑤ 未定
--------	---------	---------	---------	------

（③を選択された方）

III 望まれる後継者・後継者候補についてお選びください（複数回答可）

① 経営者・代表者の子ども	④ 社外から登用する
② 子ども以外の親族	⑤ わからない
③ 親族以外の役員・従業員	⑥ その他（ ）

(③又は④を選択された方)

Ⅳ 望まれる事業承継・事業譲渡の時期についてお選びください (〇は1つ)

① 1年以内 ② 1～2年後 ③ 3～5年後 ④ 5年以上先 ⑤ 未定

(⑤を選択された方)

Ⅴ 廃業を予定されている時期についてお選びください (〇は1つ)

① 1年以内 ② 1～2年後 ③ 3～5年後 ④ 5年以上先 ⑤ 未定

(事業承継の準備関係)

Q20 事業承継に向けた「準備」は進んでいますか (〇は1つ)

① 十分している	⑤ 何を準備したらよいのかわからない
② ある程度している	⑥ 事業承継はまだ必要ではない
③ あまりしていない	⑦ その他 ()
④ まったくしていない	

Q21 事業承継を検討する上での「課題」をお選びください (複数回答可)

① 経営状況が厳しい	⑦ 関係者の理解が得られない
② 市場の先行きが不透明である	⑧ 準備期間が短い
③ 適切な後継者がいない	⑨ 知識や理解が十分ではない
④ 資金調達が困難である	⑩ 相談先がわからない
⑤ 相続税問題が存在する	⑪ 課題はない
⑥ 個人保証問題が存在する	⑫ その他 ()

Q22 事業承継に関して「関心のある事項」をお選びください (複数回答可)

① 後継者の選定	⑤ 自社株式の評価
② 後継者の育成	⑥ 事業譲渡 (M&A 等)
③ 相続税・贈与税	⑦ 関心はない
④ 事業承継に必要な資金の調達	⑧ その他 ()

Q23 事業承継に関して「活用したい施策・支援」をお選びください (複数回答可)

① 事業承継に関する情報収集	⑥ 事業承継に関する金融支援
② 事業承継の相談窓口	⑦ 事業売却等の支援
③ 事業承継に関するセミナー	⑧ 円滑な廃業に関する相談
④ 専門家の派遣	⑨ 活用したい施策・支援はない
⑤ 後継者・後継者候補とのマッチング	⑩ その他 ()

Q24 その他自由意見欄

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。